

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の取組事例

遠野市教育委員会「遠野市放課後子ども教室」の成果と課題(岩手県遠野市)

取組事業

放課後子ども教室推進事業

活動実施場所

遠野小学校 遠野北小学校 綾織小学校 小友小学校
附馬牛小学校 土淵小学校 青笹小学校 上郷小学校
宮守小学校 鱒沢小学校 達曽部小学校

取組概要

【放課後子ども教室】

「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」の委託を受けて、安心安全な放課後の居場所のひとつとして放課後子ども教室を開設し、地域住民の参画を得ながら家庭学習の習慣化を図る。

○市内全小学校区11教室で実施

小学校や地区センター、児童館の活用

5月～11月 週2～4回 15:00～16:30 (夏期休業中8:30～10:00)

○学習アドバイザーと安全管理員の配置

宿題や自主学習の見守り・声かけを行い、継続的に学習に取り組めるよう支援する。



上郷教室

事業成果

【放課後子ども教室】

放課後の居場所として、学校・児童館・スタッフと連携を図り、子どもを中心として地域が一体となった子どもの居場所づくりを推進。

10年目を迎え、児童や保護者等の理解や認知度が高く定着してきおり、通年を通しての実施や実施時間の拡大といった声が聞かれるようになった。また、一日あたりの平均利用人数も安定的で、特に低学年中心に利用されている。



附馬牛教室閉校式

実施日数	487日 (502日)
参加児童数	12,406人 (12,793人)
市内児童数	1,251人 (1,288人)
一日あたり平均利用	25.5人 (25.6人)
	() 昨年度

※実施日数・参加児童数は、全教室述べ人数

課題や今後の取組

(課題)

・多様化する放課後の居場所について、関係機関がより連携して情報共有していかなければならない。

・高学年になると利用時間が限られ、参加児童は少なくなる。学校、児童館と協力しニーズに合った学習環境づくりが必要である。

(今後の取組)

・全小学校児童、児童館、放課後子ども教室スタッフにアンケート調査を行い、効果等について検証する。